

会報

第128号

平成29年4月1日発行

公益財団法人京都古文化保存協会友の会京都和敬会 事務局

〒606-8305 京都市左京区吉田河原町14

京都技術科学センター1階7号室

(TEL075-754-0120 FAX075-754-0122)

第二十四回

「特別拝観の集い」を実施
京都古文化保存協会友の会「京都和敬会」は、本協会が掲げる文化財保護の趣旨にご賛同いただいた一般の方々で構成されており、会員の皆様にご協力いただいております。

平成二十九年三月二十五日(土)、和敬会会員様ら三十二名にご参加いただき「第二十四回特別拝観の集い」を行いました。



金地院門前にて集合写真

無鄰菴の庭園は、山縣有朋の指示により七代目小川

当日は、まだ春浅く風がひんやりとしていましたが、日光降り注ぐ穏やかな陽気の一日でした。今回は、一六八年続く京都の老舗造園会社 植彌加藤造園株式会社 八代目代表取締役社長 加藤友規氏を講師にお迎えして、お話をうかがいながら明治・大正期の政治家 山縣有朋の別荘だった無鄰菴と、南禅寺の塔頭寺院の一つ金地院を訪れました。



無鄰菴庭園にて

治兵衛が作庭し、国の名勝庭園に指定されています。東山を臨む開放的で豊かな自然あふれる庭園。作庭当初の山縣有朋が目指した庭の姿、その管理や手入れなどの細やかな対応についての加藤氏の話に一同、興味深く耳を傾けました。建築物は、母屋、藪内流燕庵を模した茶室、レンガ造りの洋館からなり、洋館には日露戦争直前に山縣らが外交方針を決めた、「無鄰菴会議」が行われた部屋があ

ります。

また金地院の方丈庭園は、庭園の国宝といえる国の特別名勝に指定されています。またこの方丈庭園は、小堀遠州作庭との確かな記録が残る数少ない貴重なもの。同じく小堀遠州が設計した茶室「八窓席」(重文)、大方丈・小方丈・東照宮(いずれも重文)も加藤氏、お寺の係の方にご説明いただきました。見学することができました。



金地院方丈庭園